

〔自己資本の充実の状況について<レバレッジ比率に関する開示事項>〕

(レバレッジ比率の構成に関する事項)

「国際様式の該当番号」とは、パーゼル銀行監督委員会により2014年1月12日に公表されたレバレッジ比率の枠組みと開示要件と題する文書の表1及び表2に記載された番号を指します。

【連結ベース】

(単位：百万円、%)

国際様式 (表2) の該当番号	国際様式 (表1) の該当番号	項目	2019年9月期	2020年9月期
オン・バランス資産の額 (1)				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	7,421,967	7,012,902
1a	1	連結貸借対照表における総資産の額	7,463,497	7,121,992
1b	2	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額 (△)	—	—
1c	7	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額 (連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	—	—
1d	3	連結貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)	41,530	109,089
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額 (△)	39,436	40,234
3		オン・バランス資産の額 (イ)	7,382,531	6,972,667
デリバティブ取引等に関する額 (2)				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	—	—
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	8,285	13,514
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	—	—
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	20,084	22,429
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
6		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	—	—
		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)	—	—
8		清算会員である銀行又は銀行持株会社が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)	—	—
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	—
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	28,370	35,943
レポ取引等に関する額 (3)				
12		レポ取引等に関する資産の額	—	69,046
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	—
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	2,472	808
15		代理取引のエクスポージャーの額	—	—
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)	2,472	69,854
オフ・バランス取引に関する額 (4)				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	433,809	432,577
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	308,792	308,605
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	125,017	123,972
連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (5)				
20		資本の額 (ホ)	607,853	664,574
21	8	総エクスポージャーの額((イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)) (ヘ)	7,538,391	7,202,437
22		連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率((ホ)/(ヘ))	8.06	9.22
日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (6)				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	—	7,202,437
		日本銀行に対する預け金の額	—	1,226,781
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	—	8,429,218
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率((ホ)/(ヘ'))	—	7.88

(注)「いよぎん愛媛大学発ベンチャー応援ファンド投資事業有限責任組合」(以下、IEUF) および「いよエバークリーン事業承継応援ファンド2号投資事業有限責任組合」(以下、IEBF2)は、会計上、非連結の子会社であります。自己資本比率告示第三条の規定に従い、規制上の連結対象には含まれております。そのため、「パーゼルⅢ第3の柱に基づく開示事項」における連結貸借対照表は、IEUF、IEBF2を含めて作成した規制上の連結対象に基づいた貸借対照表であり、会計上の公表貸借対照表とは相違します。

(前中間連結会計年度の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因 (当該差異がある場合に限る。))

規制上、総エクスポージャーの額に「日本銀行に対する預け金」を含めない取扱となったため、2020年9月期の連結レバレッジ比率は2019年9月期に比べ上昇しました。

【単体ベース】

(単位：百万円、%)

国際様式 (表2) の該当番号	国際様式 (表1) の該当番号	項目	2019年9月期	2020年9月期
オン・バランス資産の額 (1)				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	7,392,985	6,984,028
1a	1	貸借対照表における総資産の額	7,434,516	7,093,118
1b	3	貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)	41,530	109,089
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額 (△)	42,356	44,167
3		オン・バランス資産の額 (イ)	7,350,628	6,939,860
デリバティブ取引等に関する額 (2)				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	—	—
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	8,285	13,514
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	—	—
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	20,084	22,429
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
6		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	—	—
		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)	—	—
8		清算会員である銀行又は銀行持株会社が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)		
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	—
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	28,370	35,943
レポ取引等に関する額 (3)				
12		レポ取引等に関する資産の額	—	69,046
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	—
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	2,472	808
15		代理取引のエクスポージャーの額		
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)	2,472	69,854
オフ・バランス取引に関する額 (4)				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	412,094	411,514
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	289,248	289,648
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	122,845	121,865
単体レバレッジ比率 (5)				
20		資本の額 (ホ)	589,640	635,574
21	8	総エクスポージャーの額 ((イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)) (ヘ)	7,504,317	7,167,524
22		単体レバレッジ比率(ホ)/(ヘ)	7.85	8.86
日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 (6)				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)		7,167,524
		日本銀行に対する預け金の額		1,226,781
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')		8,394,305
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 ((ホ)/(ヘ'))		7.57

(前中間事業年度の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因 (当該差異がある場合に限る。))

規制上、総エクスポージャーの額に「日本銀行に対する預け金」を含めない取扱となったため、2020年9月期の単体レバレッジ比率は2019年9月期に比べ上昇しました。